

# 市民の声を市政に

19人がより良い市政を目指して

## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は6月14日～17日に行いました。

**問** 教育現場における具体的な取組は何か。

**ごみ減量化の取組推進を**

ごみ減量化の取組推進を、教育現場における具体的な取組は何か。

**問** 職員マナーハンドブックの活用と接遇向上をどのように図っているのか。

**答** 職員マナーハンドブックは、新規採用職員の研修をはじめ、さまざまな機会を捉え活用している。また市民から苦情が寄せられた場合は、市役所全体の問題として捉え、ハンドブックをもとに自身の接遇を振り返り、実践できているかを確認しながら、接遇向上に取り組みることとしている。



寄り添う姿勢で市民サービスの質の向上を

松枝 正浩 議員

**問** 児童生徒が環境について正しい理解を深め、責任をもって環境保全に取り組む態度を養うことを目標としている。具体的には、施設見学、海岸清掃やボランティア活動、家庭のごみ量から減量を目指すなど、SDG Sの視点で工夫した取組も行っている。

**答** 児童生徒が環境について正しい理解を深め、責任をもって環境保全に取り組む態度を養うことを目標としている。具体的には、施設見学、海岸清掃やボランティア活動、家庭のごみ量から減量を目指すなど、SDG Sの視点で工夫した取組も行っている。



錦江湾クリーンアップ作戦の様子（国分海水浴場）



**問** 地域未来構想20の捉え方と意識して取り組む考えはあるか。

**答** 同構想は、新型コロナウイルス感染症に感染した新しい生活様式の実現のために地方創生臨時交付金を活用して、感染症にも経済危機にも強い、強靱かつ自律的な社会経済の構築に向けて期待される20の政策分野が示されている。これまでに交付金を活用して感染拡大防止と地域医療体制の維持を図る施策、事業者継続支援策などを実施してきた。引き続き同構想に掲げられた政策事例等を踏まえ、どのような施策が必要なのかを見極めて、各種対策を講じていく。



コロナ後を見据えた新たな戦略を

山田 龍治 議員

**問** 臨時交付金を活用して、アウトドアの聖地と災害に強いまち霧島市を目指した取組はできないか。

**答** 他の自治体における取組事例などを情報収集しつつ、調査研究していく。



霧島高原国民休養地



## (仮称)霧島市クリーンセンター施設整備等調査特別委員会

ここに注目!

のべ1,186分の調査を実施



仮屋 国治 委員長

令和2年12月の定例会において設置された同委員会の調査結果を踏まえ、市議会より提言を行いました。

提言

1. クリーンセンターの施設整備にあたり、更なるごみ減量化対策を推進し、効率的な運用を目指すこと。
2. 霧島市としてゼロカーボンシティ2050への取組を明確に表明すること。
3. 資源循環、環境教育及び学習、環境保全などに関する充実したソフト事業を構築し、地球温暖化防止につながる低炭素社会の実現に向けた取組を推進すること。



## 広報広聴常任委員会

広報広聴常任委員会

◎山田 龍治 徳田 修和 ◎山口 仁美 前川原正人 松枝 正浩 川窪 幸治 宮田 竜二 鈴木てるみ ◎委員長 ◎副委員長

## お知らせ! 霧島市議会公式フェイスブック開設

令和3年6月定例会より、霧島市議会公式フェイスブックをはじめました。議会日程、委員会の様子、現地調査など本会議の中継以外の議会活動について掲載しています。ぜひ、フォローをお願いします。



霧島市議会公式アカウントはこちら▶

